

No	名 称	場 所	構 造 種 別 大 き さ	土被り	土 質	竣工 年度	事 業 主 体 発 注 者	特 色
1	木田余架道橋	常磐線 土浦・神立間	下路桁形式 W3.5×H2.7×L13.8	0.2	砂質粘土	53	土浦市 水戸鉄道管理局	
2	大宮駅構内	東北本線 大宮操車場	楕円形トンネル W6.0×H4.0×L11.9	0.8	凝灰質粘土	55	東京第三工事局 同上	楕円形トンネル 長径 8.9m
3	掛川暗渠	東海道本線 菊川・掛川間	円型トンネル W3.5×H2.5×L18.0	2.0	シルト	55	掛川市 静岡鉄道管理局	
4	香椎駅水路	鹿児島本線 香椎駅構内	馬蹄型トンネル W2.6×H1.8×L32.0	1.7	砂混粘土	55	福岡市 門司鉄道管理局	
5	志賀沢橋梁	東北本線 岩沼・名取間	下路桁形式 W10.6×H2.8×L14.2	0.1	砂質シルト	56	東北農政局 仙台鉄道管理局	
6	蟠竜湖架道橋	山陰本線 益田・戸田小浜間	下路桁形式 W10.4×H5.3×L12.0	0.2	細砂	56	益田市 米子鉄道管理局	
7	安来架道橋	山陰本線 安来・荒島間	下路桁形式 W26.5×H4.3×L10.7	0.4	砂質土	57	安来市 米子鉄道管理局	主桁支間 28.0m
8	弘前駅城東地下道	奥羽本線 弘前駅構内	楕円形トンネル W4.8×H2.8×L64.5	1.0	砂質土	57	弘前市 盛岡工事局	
9	西田辺駅構内地下道	大阪地下鉄一号線 西田辺駅構内	アンダーピニング・仮土留 W3.0×H2.4×L19.2	8.7	粘土シルト	57	大阪市交通局 同上	地下鉄下横断
10	鈴木島架道橋	東海道本線 興津・清水間	下路桁3径間 W21.0×H6.2×L15.1	0.1	砂質シルト	59	清水市 静岡鉄道管理局	3径間連続主桁
11	益田架道橋	山陰本線 益田駅構内	下路桁形式 W10.5×H5.8×L19.0	0.3	粘土	57	益田市 米子鉄道管理局	
12	水尾川橋梁	山陰本線 姫路・英賀保間	下路桁形式 W22.0×H5.8×L15.9	0.1	砂礫	58	姫路市 大阪鉄道管理局	エレメントのHTB接合
13	名取川左岸幹線	東北本線 長町・名取間	円型トンネル φ2.4×L21.3	3.9	砂礫	57	仙台市 同上	
14	南谷津排水路	有料道路 市川・松戸間	特殊ボックス W2.2×H1.0×L11.0	0.8	砂質シルト	58	松戸市 同上	
15	柵島二道橋	鹿児島本線 佐敷駅構内	下路桁形式 W4.5×H2.7×L12.0	0.2	粘土質シルト	59	熊本県 熊本鉄道管理局	

No	名 称	場 所	構 造 種 別 大 き さ	土被り	土 質	竣工 年度	事 業 主 体 発 注 者	特 色
16	樽こ道橋	上越線 渋川・敷島間	下路桁形式 W3.8×H3.8×L14.0	0.3	砂質シルト	59	渋川市 高崎鉄道管理局	
17	刈谷田川橋梁	信越本線 帯織・東光寺間	下路桁形式 W4.4×H1.7×L20.0	0.5	粘土シルト	59	北陸農政局 新潟鉄道管理局	
18	新亀崎架道橋	武豊線 東浦・亀崎間	下路桁2径間 W23.3×H5.6×L11.0	0.3	粘土	60	半田市 名古屋鉄道管理局	
19	第三浜男川橋梁	鹿児島本線 香椎駅構内	支持梁式函渠 W4.0×H2.0×L18.5	0.0	砂質粘土	60	福岡市 九州総局	支持梁式函渠
20	郡山構内下水路	東北本線 郡山駅構内	円型トンネル φ2.85×L80.5	1.0	砂礫	61	郡山市 仙台鉄道管理局	推進長 80m
21	池下架道橋	東海道本線 垂井・関ヶ原間	下路桁形式 W15.0×H4.7×L16.0	0.2	砂礫	61	中部地方建設局 名古屋鉄道管理局	
22	新太田架道橋	東海道本線 幸田・岡崎間	下路桁形式 W11.8×H6.0×L16.2	0.2	砂礫	61	愛知県 名古屋鉄道管理局	
23	守山駅地下道	東海道本線 守山駅構内	馬蹄型トンネル W3.6×H3.0×L49.0	0.6	砂礫	61	守山市 大阪鉄道管理局	馬蹄形トンネル 長径 6.2m
24	川田架道橋	福知山線 川西池田駅構内	2径間連続下路桁 W29.6×H6.0×L15.3	0.1	粘土混り砂礫	1	川西市 大阪工事局	3分割施工
25	吉田通りこ道橋	高崎線 上尾・桶川間	下路桁形式 W12.0×H6.0×L12.9	0.0	ローム質粘土	62	上尾市 高崎鉄道管理局	土被りゼロ
26	大橋川橋梁	東北本線 杉田・二本松間	下路桁形式 W19.1×H7.5×L19.1	0.2	砂礫混りシルト	61	福島県 仙台鉄道管理局	PC3主桁 エレメント鉄筋定着
27	鹿川架道橋	関西本線 平城山駅構内	下路桁形式 W8.0×H5.2×L15.5	0.4	粘性土	61	奈良市 大阪工事局	
28	武井こ道橋	常磐線 駒ヶ嶺・新地間	下路桁形式 W7.0×H4.7×L16.4	0.6	有機質シルト	62	相馬市 水戸鉄道管理局	
29	日豊5号線架道橋	日豊本線 城野・下曾根間	下路桁形式 W11.0×H6.0×L15.9	0.2	シルト	62	北九州市 九州総局	
30	山田架道橋	東海道本線 二川・豊橋間	下路桁2径間 W22.0×H5.8×L15.3	0.3	砂礫	62	豊橋市 静岡鉄道管理局	

No	名 称	場 所	構 造 種 別 大 き さ	土被り	土 質	竣工 年度	事 業 主 体 発 注 者	特 色
31	山本架道橋	可部線 安芸長束・下祇園間	下路桁形式 W9.8×H6.0×L10.7	0.2	シルト質粘土	62	広島市 下関工事事務所	
32	箕輪架道橋	東海道新幹線 豊橋・名古屋間	側部仮土留 W25.0×H5.4×L25.0	—	砂混り粘土	62	安城市 岐阜工事事務所	新幹線下の推進
33	古浜架道橋	山陽本線 尾道・糸崎間	下路桁形式 W12.9×H6.4×L15.6	0.2	砂	63	尾道市 岡山鉄道管理局	切梁方式の発進立坑 切梁盛替により推進
34	滑川二道橋	常磐線 日立・小木津間	下路桁形式 W12.0×H5.0×L19.4	1.3	砂礫	63	日立市 JR東日本 水戸運行部	発進構台による推進 エレメントの置換推進
35	石松架道橋	北陸本線 加賀笠間・松任間	下路桁形式 W18.5×H4.5×L18.5	0.3	砂礫	63	松任市 JR西日本 金沢支社	斜角60° スパン23.3m
36	関ノ前二道橋	常磐線 富岡・夜ノ森間	下路桁形式 W16.9×H5.1×L15.6	0.1	砂質粘土	1	富岡町 JR東日本 水戸支社	発進構台による推進 斜角60°
37	南原架道橋	日豊本線 苅田・小波瀬間	2径間連続下路桁 W22.0×H5.5×L13.8	0.8	シルト質粘土	1	苅田町 JR九州 本社	既設架道橋を取壊し拡大新設 ラーメンアバット
38	十和田用水路	十和田観光電鉄 三沢・十和田市間	特殊ボックス W2.0×H1.5×L18.0	0.4	火山灰砂	63	東北農政局 同上	鉄道下と道路下連続横断
39	東京駅南口通路拡幅	東京駅構内	馬蹄型トンネル W5.8×H3.4×L14.0	0.5	ローム層	63	JR東日本 東京工事事務所 同上	反力を隣接エレメントで確保 人力掘削 到達立坑なしの推進
40	大倉沢川橋梁	東北本線 六原・北上間	馬蹄型トンネル W2.0×H3.2×L57.0	11.5	泥岩	1	JR東日本 盛岡支店 同上	クラウンエレメントは六角形断面 で礫層を推進
41	赤浜二道橋	常磐線 高萩・南中郷間	下路桁形式 W6.8×H4.7×L17.5	0.2	砂質土	3	茨城県 JR東日本 水戸支社	
42	菩提下水路	関西本線 奈良駅構内	馬蹄型トンネル W3.5×H3.5×L33.3	0.3	砂礫	1	奈良市 JR西日本 建設工事部	構内の埋存する支障物が 多数あり推進難渋
43	高水川橋梁	東北本線 日詰・古館間	馬蹄型トンネル W3.5×H4.0×L14.0	0.8	礫混り粘土	1	JR東日本 盛岡支店 同上	既存水路を取り囲んで拡大新設 する
44	会津架道橋	東北本線 白河駅構内	下路桁形式 W12.0×H4.7×L17.8	0.5	礫混り粘土	4	白河市 JR東日本 東京工事事務所	鉄道3線横断 人力掘削
45	淀水路	京都府道 淀新町線	下路桁形式 W8.5×H3.3×L14.2	2.2	砂礫	2	京都市建設局 同上	アンカー定着採用第1号

No	名 称	場 所	構 造 種 別 大 き さ	土被り	土 質	竣工 年度	事 業 主 体 発 注 者	特 色
46	矢部トンネル	横浜新道(国道1号)下 横浜市道第123号	トンネル形式 W7.0×H5.9×L30.0	7.1	粘土	5	横浜市道路局 同上	国道下横断 トンネル外径 10m
47	第2白島架道橋	山陽本線 広島・横川間	下路桁形式 W17.1×H4.7×L15.8	0.1	粗砂	3	中国地建広島国道 JR西日本 広島工事事務所	盛土擁壁L型のハツリ推進
48	峰吉川二道橋	奥羽本線 峰吉川・羽後境間	下路桁形式 W13.3×H4.7×L22.9	1.9	砂質土	3	秋田県 JR東日本 秋田支店	エレメント長 20.5m
49	石動架道橋	北陸本線 石動駅構内	下路桁形式 W13.0×H4.6×L17.6	0.2	シルト混り粘土	4	富山県 JR西日本 金沢支社	既設架道橋を取壊し拡大新設 鉄道下のアンカー定着採用第1号
50	宮内街道二道橋	奥羽本線 赤湯・北赤湯間	下路桁形式 W15.4×H4.7×L16.7	0.3	粘土混りシルト	3	山形県 JR東日本 東北地域本社	
51	金熊寺二道橋	阪和線 和泉砂川・和泉鳥取間	下路桁2径間 W28.0×H5.7×L15.0	0.2	砂質粘土	5	大阪府 JR西日本 本社	発進構台による推進
52	桂架道橋	阪急京都線 桂・西京極間	下路桁2径間 W21.5×H4.7×L16.6	0.5	玉石混り砂礫	5	京都市建設局 阪急電鉄 土木部	φ200mm以上の玉石多数大型 エレメントで推進した後で置換
53	東新涯架道橋	山陽本線 松永・尾道間	下路桁形式 W15.0×H4.7×L16.3	0.6	砂混りシルト	4	尾道市 JR西日本 岡山支社	
54	鮎喰架道橋	徳島本線 鮎喰・府中間	下路桁形式 W8.8×H4.7×L14.8	0.8	礫混り砂	5	徳島市 JR四国 本社	上床エレメントの推進反力を 発進床より確保
55	六地蔵架道橋	神戸電鉄有馬線 箕谷・谷上間	下路桁形式 W7.0×H4.7×L12.5	0.3	礫岩	6	神戸市 神戸電鉄(株)	側壁エレメントは人力掘削
56	片福連絡線竹島工区	片福連絡線 塚本・尼崎間	床版桁 支持幅 128m×L21.5	0.0	礫混り砂	6	関西高速鉄道(株) JR西日本 建設工事部	上床エレメントを現場溶接
57	21世紀の森と広場	松戸市道3・3・7号下	馬蹄形トンネル W4.0×H2.5×L30.0	1.9	粘土混り砂	4	松戸市 同上	道路下横断歩道
58	赤羽補助85号	東北線 赤羽・川口間	馬蹄形トンネル W2.5×H2.5×L25.0	1.3	砂	5	東京都北区 JR東日本 東京工事事務所	
59	田間水路	東金線 東金・求名間	トンネル W2.2×H2.2×L19.5	0.7	細砂	5	東金市 田間土地区画整理事業組合	
60	第二阪奈新石切	近鉄東大阪線 石切・生駒間	アンダーピニング 支持幅 52m×L16.4	0.9	礫	6	大阪府道路公社 近畿日本鉄道(株)	

No	名 称	場 所	構 造 種 別 大 き さ	土被り	土 質	竣工 年度	事 業 主 体 発 注 者	特 色
61	清水坂人道橋	東北線 東十条・赤羽間	馬蹄形トンネル W3.0×H2.5×L42.0	1.5	細砂	5	東京都北区 JR東日本 東京工事事務所	
62	飯坂二道橋	東北本線 伊達・桑折間	下路桁 W14.0×H4.7×L18.7	1.0	粘性土	6	福島県 JR東日本 東北地域本社	
63	藤ノ木橋梁	神戸電鉄栗生線 藍那・木津間	トンネル W6.4×H4.6×L13.0	2.5	砂質土	5	神戸市 神戸電鉄株	完全閉合型トンネル 斜角推進
64	駅南線架道橋	山陽本線 相生駅構内	トンネル W2.0×H2.0×L29.3	3.5	砂礫	6	相生市 JR西日本 鉄道本部	
65	名神地下横断道	名神高速道路 垂水町地内	トンネル W3.0×H2.5×L62.5	3.0	礫混り砂	5	大阪府	高速道路下の横断に初採用
66	仲原架道橋	都道430号線下	馬蹄形トンネル W3.0×H2.5×L18.0	5.0	砂質シルト	5	東京都北区	
67	今山架道橋	関西本線 月ヶ瀬口駅構内	馬蹄形トンネル W8.0×H4.7×L45.8	8.4	礫粘土混り砂	6	京都府 JR西日本 大阪支社	PC導入アーチ トンネル外径 10.8m
68	竹島駅通路	片福連絡線 塚本・尼崎間	トンネル W3.1×H2.9×L25.5	1.3	礫混り砂	6	関西高速鉄道株 JR西日本 建設工事部	
69	浦川暗渠	鹿児島本線 長洲駅構内	下路桁形式 W7.8×H2.3×L22.0	1.0	礫混り粘土	6	熊本県 JR九州 本社	
70	伊野架道橋	土讃線 伊野・波川間	下路桁形式 W12.0×H5.5×L11.2	0.3	砂質土	6	高知県 JR四国 本社	
71	宇津貫架道橋	横浜線 相原・片倉間	下路桁形式 W16.0×H7.0×L21.9	0.6	粘土質ローム	6	住宅都市整備公団 JR東日本 東京工事事務所	
72	西取手第二架道橋	関東鉄道・常総線 西取手・寺原間	下路桁形式 W16.0×H5.8×L16.2	0.8	砂質土	6	取手市 関東鉄道株式会社	
73	大桜架道橋	東北本線 平泉・前沢間	下路桁形式 W10.0×H5.1×L20.1	0.2	粘質土	6	岩手県前沢町 JR東日本 盛岡土木技術センター	
74	琴電架道橋	高松琴平電鉄 琴電琴平・榎井間	下路桁形式 W9.8×H5.5×L12.2	0.2	玉石混り砂礫	6	香川県善通寺土木事務所 高松琴平電気鉄道	側壁エレメントは礫層対策として 2連箱断面で人力掘削
75	豆田橋梁	山陽本線 姫路・英賀保間	下路桁形式 W30.0×H4.0×L11.7	0.2	砂礫	7	兵庫県姫路土木事務所 JR西日本 神戸支社	PC主桁(スパン32.0m)

No	名 称	場 所	構 造 種 別 大 き さ	土被り	土 質	竣工 年度	事 業 主 体 発 注 者	特 色
76	茂漁川橋梁	千歳線 恵み野・恵庭間	下路桁形式 W18.2×H3.2×L20.3	0.1	砂礫	7	北海道札幌土木現業所 JR北海道 本社	
77	宮の内こ道橋	東北本線 雀宮・宇都宮間	4径間連続下路桁形式 W35.0×H6.1×L25.4	1.2	ローム	7	栃木県宇都宮土木事務所 JR東日本 東京工事事務所	両側道を含め桁と橋台を一体化した下路桁形式ラーメン構造
78	福島共同溝	大阪市北区 国道2号線下	トンネル形式 W5.2×H5.0×L50.4	7.8	シルト質砂	9	近畿地建大阪国道工事事務所 同上	PC閉合トンネル 建設省パイロット事業
79	祖父川橋梁	北陸本線 西高岡・高岡間	仮受橋台 W11.8×H3.7×L13.3	—	礫混じり砂質土	8	富山県高岡土木事務所 JR西日本 金沢支社	工事桁の仮受橋台として 仮設利用
80	東名緑人道橋	東名高速道路 横浜緑インター	馬蹄型トンネル W4.0×H3.0×L41.0	1.8	ローム	7	横浜市 道路公団横浜工事事務所	
81	廿日市トンネル	広島岩国道路 廿日市JC・廿日市IC間	トンネル形式 W3.0×H2.6×L31.0	4.5	礫混じり砂質土	7	廿日市 道路公団岩国管理事務所	3.8%下り勾配の推進
82	第一ホテル連絡車路	千代田区 内幸町1丁目地先	PC閉合トンネル形式 W6.1×H5.1×L16.0	10.0	砂混じりシルト	8	三菱地所 同上	地下20m地下駐車場連絡車路 ワンサイド施工(到達坑なし)
83	新発田トンネル	新発田市大栄町 国道490号線下	楕円型閉合トンネル形式 W5.5×H2.6×L25.0	7.1	シルト混り細砂	8	新潟県新発田農地事務所 同上	引張インバート
84	小浜トンネル	常磐線 富岡・夜ノ森間	トンネル形式 W3.0×H2.9×L8.5	1.1	砂質土	8	東北地建磐城国道工事事務所 JR東日本 水戸土木技術センター	短くともアバット省略で経済的
85	向川原こ道橋	両毛線 佐野・富田間	2径間下路桁形式 W20.3×H5.4×L9.0	0.6	砂礫	8	栃木県佐野土木事務所 JR東日本 高崎土木技術センター	
86	祖父川橋梁	北陸本線 西高岡・高岡間	下路桁形式 W32.8×H3.1×L15.4	0.2	礫混じり砂質土	8	富山県高岡土木事務所 JR西日本 金沢支社	
87	八戸新都市1号線	八戸自動車道 南郷IC・八戸IC間	トンネル形式 W6.0×H3.0×L40.5	1.6	火山灰質	8	地域振興整備公団 同上	
88	本荘西目線こ道橋	由利高原鉄道 子吉・鮎川間	下路桁形式 W11.0×H5.2×L11.8	1.7	礫混じり粘性土	8	秋田県由利土木事務所 同上	
89	浜田架道橋	東北本線 東青森・青森間	下路桁形式 W15.0×H5.0×L15.5	0.0	レキ混り砂	10	青森県青森土木事務所 JR東日本 東北工事事務所	既存車路の拡幅 併用状態で施工
90	仁川トンネル	宝塚市仁川北2丁目 小仁川、宝塚市道下	馬蹄型トンネル W8.0×H3.6×L70.0	2.3	砂質土	12	日本中央競馬会 同上	PC閉合トンネル 河川下を含む ワンサイド施工(到達坑なし)

No	名 称	場 所	構 造 種 別 大 き さ	土被り	土 質	竣工 年度	事 業 主 体 発 注 者	特 色
91	吾井郷架道橋	土讃線 吾桑・多ノ郷間	下路桁2径間 W28.5×H6.2×L14.0	0.2	粘土混り砂礫	9	四国地建土佐国道工事事務所 JR四国 本社	傾斜つき上床部
92	川口架道橋	東海道本線 新橋・品川間	2径間連続平板形式 W13.0×H6.6×L39.0	0.8	砂礫	11	東京都港区 JR東日本 東京工事事務所	PC導入 新幹線下推進
93	原橋梁	予讃線 高瀬・比地大間	下路桁形式 W15.3×H2.4×L12.5	0.1	砂質土	8	香川県観音寺土木事務所 JR四国 本社	
94	北田こ道橋	常磐線 木戸・竜田間	下路桁形式 W14.0×H5.6×L14.5	0.9	粘性土	9	福島県相双農地事務所 JR東日本 水戸支社	主桁と橋台を一体化した ラーメン構造のアバット
95	新開こ道橋	予讃線 高松・香西間	下路桁形式 W20.1×H5.6×L17.5	0.2	レキ混り砂質土	9	高松市 JR四国 本社	PC主桁
96	玉露こ道橋	常磐線 泉・湯本間	下路桁形式 W12.8×H6.2×L17.4	0.8	砂質土	9	いわき市 JR東日本 水戸支社	
97	桜田こ道橋	常磐線 末続・広野間	下路桁形式 W10.6×H5.3×L13.5	0.2	玉石混り砂礫	9	福島県広野町 JR東日本 水戸支社	側壁は2連型エレメント
98	比留川トンネル	東海道新幹線 新横浜・小田原間	円型トンネル φ3.2×L31.0	4.2	砂質土	10	神奈川県 JR東海	新幹線下閉合トンネル
99	第2木下こ道橋	総武本線 幕張駅構内	2径間連続ボックス形式 W22.1×H5.9×L62.0	0.4	砂質土	11	千葉市 JR東日本 東京工事事務所	PC導入
100	宮津橋梁	北近畿タンゴ鉄道 宮津・天橋立間	下路桁形式 W20.6×H5.9×L12.3	0.1	砂質土	11	京都府 北近畿タンゴ鉄道	
101	鈴鹿1号トンネル	三重県鈴鹿サーキット下 一般地方道三行・庄野線	円型トンネル W3.0×H2.5×L43.5	1.8	砂質シルト	10	三重県鈴鹿土木事務所 同上	高速サーキット下
102	志和人道トンネル	東北本線 日詰・古館間	馬蹄形トンネル W3.0×H4.0×L15.5	0.4	礫混じり砂質土	11	岩手県 JR東日本 盛岡支社	
103	船岡こ道橋	山陰本線 船岡駅構内	下路桁形式 W12.0×H5.8×L13.6	0.9	粘土質	11	京都府福知山土木事務所 JR西日本 福知山支社	
104	加古川B1工区	山陽本線 加古川・宝殿間	下路桁形式 W7.8×H4.2×L19.0	0.3	砂質土	11	兵庫県加古川土木事務所 JR西日本 大阪建設工事事務所	
105	加古川B2工区	山陽本線 加古川・宝殿間	下路桁形式 W8.7×H4.5×L17.0	0.5	砂質土	11	兵庫県加古川土木事務所 JR西日本 大阪建設工事事務所	

No	名 称	場 所	構 造 種 別 大 き さ	土被り	土 質	竣工 年度	事 業 主 体 発 注 者	特 色
106	鈴鹿2号トンネル	三重県鈴鹿サーキット下 一般地方道三行・庄野線	馬蹄型トンネル W3.0×H2.5×L43.5	1.8	凝固シルト	12	三重県鈴鹿建設部 同上	高速サーキット下
107	駒場架道橋	関東鉄道常総線 寺原・新取手間	下路桁形式 W12.0×H5.8×L15.5	0.7	粘土質細砂	12	取手市新取手土地区画整理組合 関東鉄道株式会社	
108	竜崎二道橋	水郡線 泉郷・川東間	馬蹄型トンネル W3.0×H2.5×L13.3	0.9	有機質粘土	13	福島県県南建設事務所 JR東日本 水戸支社	
109	藤田川橋りょう	東北本線 東仙台駅構内	連結橋台 W10.7×H3.4×L13.8	0.0	玉石混じり	13	宮城県仙台土木事務所 JR東日本 東北工事事務所	桁とPC連結構造の橋台形式
110	尾道旧国道架道橋	山陽線 東尾道・尾道間	下路桁形式 W26.5×H5.1×L14.2	0.0	礫混じり砂質土	14	尾道市 JR西日本 広島工事事務所	PC主桁
111	蘇我架道橋	内房線 蘇我・浜野間	PCボックス形式 W29.1×H5.6×L18.8	0.7	砂質土	14	千葉市 JR東日本 千葉土木技術センター	4径間連続門型構造
112	近鉄東寺	近鉄京都線 東寺・十条間	アンダーピニング 支持幅W76.3××L13.9	0.2	砂礫混じり	14	京都市都市建設局 近畿日本鉄道(株)	連続立体交差
113	楯山架道橋	仙山線 高瀬・楯山間	連結橋台 W16.9×H5.8×L14.8	0.0	砂 礫	14	山形県山形建設事務所 JR東日本 仙台支社	
114	浅水川放水路橋りょう	東北本線 高岩・八戸間	下路桁形式 W44.8×H3.5×L15.0	0.0	粘性土	14	青森県 JR東日本 東北工事事務所	PRC2径間連続主桁
115	中井里二道橋	信越本線 高崎駅構内	仮受橋台 W6.5×H4.7×L28.3	—	礫混じり	14	高崎市 JR東日本 高崎土木技術センター	工事桁の仮受橋台として 仮設利用
116	枚方市国道1号下	大阪府枚方市東田宮町 国道1号線下	円型トンネル W3.0×H2.5×L24.0	2.3	砂混り粘土	14	枚方市	
117	甲南山手駅構内	東海道本線 甲南山手駅構内	PCボックス形式 W6.6×H3.3×L26.7	1.5	砂質土	14	神戸市 JR西日本 神戸工事事務所	PC導入
118	山口第2架道橋	東海道本線 新大阪・大阪間	PCボックス形式 W3.0×H2.6×L55.0	0.5	砂質土	18	大阪市 JR西日本 大阪支社	PC導入
119	大和町架道橋	北陸本線 西金沢・金沢間	PC円型トンネル W4.0×H2.5×L23.0	0.8	砂混り粘土	15	金沢市 JR西日本 金沢支社	PC導入
120	東名阪横断地下歩道	東名阪自動車道 主要地方道四日市多度線	円型トンネル W3.0×H2.5×L64.1	7.0	礫混じり粘土	16	三重県四日市建設部 同 上	



No	名 称	場 所	構 造 種 別 大 き さ	土被り	土 質	竣工 年度	事 業 主 体 発 注 者	特 色
121	国道246号 横断地下歩道	国道246号線 県道川崎町田線	PCボックス形式 W3.0×H2.6×L23.6	2.1	ローム	15	横浜市道路局建設部北部建設課 同上	PC導入
122	下笠道二道橋	東海道本線 草津駅構内	仮受橋台 W7.3×H6.7×L37.0	—	砂質土	18	滋賀県湖南地域振興局建設管理部 JR西日本 京都土木技術センター	工事桁の仮受橋台として 仮設利用
123	砂津二道橋(下り線)	鹿児島本線 門司・小倉間	PCボックス形式 W9.0×H5.7×L61.6	7.6	砂質土	27	北九州市建設局土木部街路課 JR九州 工事事務所	PC導入
124	大州架道橋	山陽本線 向洋・天神川間	PCボックス形式 W11.3×H6.2×L39.5	3.1	砂質土	22	広島市 JR西日本 大建工 広島工事事務所	PC導入
125	砂津二道橋(上り線)	鹿児島本線 門司・小倉間	PCボックス形式 W14.7×H5.7×L62.6	3.9	砂質土	27	北九州市建設局土木部街路課 JR九州 工事事務所	PC導入
126	吹田貨物専用道路 架道橋	東海道本線 吹田・東淀川間	PCボックス形式 W10.5×H5.2×L56.0	5.2	シルト質砂 砂 礫	24	鉄道建設・運輸施設整備支援機構 JR西日本 大建工 京滋工事事務所	PC導入
127	前川橋りょう	北陸本線 糸魚川・梶屋敷間	下路桁形式 W8.5×H3.7×L16.1	0.0	砂質土	22	新潟県糸魚川地域振興局地域整備部 JR西日本 金沢土木技術センター	
128	八角架道橋	東海道本線 長岡京・山崎間	PCボックス形式 W14.0×H7.4×L25.0	5.6	砂質土	24	京都府 JR西日本 京都土木技術センター	PC導入
129	松任美川線 架道橋	北陸本線 加賀笠間・松任間	PCボックス形式 W10.5×H6.5×L14.7	1.1	砂礫	23	鉄道建設・運輸施設整備支援機構 JR西日本 金沢工事事務所	PC導入
130	成北安田線 架道橋	北陸本線 加賀笠間・松任間	PCボックス形式 W9.5×H6.5×L19.2	1.4	砂礫	23	鉄道建設・運輸施設整備支援機構 JR西日本 金沢工事事務所	PC導入
131	安祥寺川橋りょう	東海道本線 山科・京都間	馬蹄型トンネル W4.7×H4.4×L37.0	10.3	砂質土 粘性土	26	京都市 JR西日本 京都土木技術センター	
132	加古川BP 人道トンネル	加古川市野口町～加古川町 国道2号線加古川バイパス	PCボックス形式 W3.4×H3.0×L20.3	1.3	礫混じり粘土 砂礫質粘土	25	近畿地整姫路河川国道工事事務所 同上	PC導入
133	第2名神アクセス 架道橋	東海道本線 島本・高槻間	PCボックス形式 W7.4×H7.1×L22.0	0.8	砂質土 粘性土	26	大阪府 JR西日本 京都土木技術センター	PC導入 外殻鋼板で応力を伝達
134	西吹田 架道橋	東海道本線 吹田・東淀川間	PCボックス形式 W12.5×H7.0×L77.0	1.9	砂質土 粘性土	29	大阪府吹田市 JR西日本 大阪工事事務所	PC導入
135	磯部川橋りょう	北陸本線 春江駅構内	下路桁形式 W16.1×H4.4×L19.5	0.0	粘性土	28	福井県 JR西日本 金沢土木技術センター	

No	名 称	場 所	構 造 種 別 大 き さ	土被り	土 質	竣工 年度	事 業 主 体 発 注 者	特 色
136	加西地区 人道C-BOX	中国自動車道 KP. 74.4 市道 西谷坂本線	PCボックス形式 W3.4×H2.6×L30.5	1.7	砂質土	27	兵庫県加西市 NEXCO西日本 福崎高速道路事務所	PC導入
137	梅田1丁目1番地 連絡通路	大阪市北区 梅田1丁目12・13番地	PCボックス形式 W8.1×H4.9×L21.6	10.0	粘性土	28	阪神電気鉄道株式会社・ 阪急電鉄株式会社	PC導入 ワンサイド施工(到達坑なし)
138	西垣見 架道橋	東海道本線 能登川駅構内	PCボックス形式 W7.7×H6.0×L23.7	0.6	シルト質粘土 粘性土	30	滋賀県東近江市 JR西日本 京都土木技術センター	PC導入 外殻鋼板で応力を伝達
139								
140								
141								
142								
143								
144								
145								
146								
147								
148								
149								
150								

竣工年度 28年度以降は予定